

# 日産自動車 20040202

人事部から先生の著書「仕事を高める…」が送られて、1時間読めと言われて本日出張の往復で読み通しました。私も常日頃、物事をできるだけ図解で考えるようにしており、内容が腑に落ちました。

図にする過程も非常に重要とも感じた。自分も周りの関係、全体の関係、自分中心の視点で図化することは考えているよりも難しいと思う。図化のヒント、取り組み方についての話も聞きたかった。

業務処理基準書を作るときに業務フローを書くと、なかなか全体の整合がとれない等、わかりにくいものになってしまいます。お話と本を参考にしたいと思っています。

非常にユニークな考え方で大変参考になった。どの様にして図を表現する(ノウハウスキル)を身につけたのかももう少し知りたい。

自分の仕事を図に描く=仕事、自分自身を理解する事にもつながることを知り、今後仕事だけでなく人生においても役立てていく事ができればと思いました。

他の部署に移転した人から引継ぎを受けた業務が昨年からのスタートのものであり、さまざまな部署のはざまにありよく見えなくなっている。図解により全体どのように推進していくかを一度やってみちあ。また上司と話してみたい。

自分の足元を掘ってみる、まだまだ掘れていない。人のマネではない何かを見つける。

図のサンプルと解説(修正ポイント)を話して頂きましたが、修正した結果のサンプルも付けていただければ後から資料を見ても理解しやすいと思う。

図に描く重要性を理解する事ができたが、具体的なテクニックについて知りたい。我々も解説等で可視化されたものを求めるが、まさしく「図に描く事」と同じ意味であることに気がつきました。

人生時計がユニークだと思いました。まだまだ先が長いと感じました。

図で使うことの意味、有効性がわかったような気がした。さっそくやってみよう。新しい自分発見になるかもしれないので。

箇条書きの書き方の欠点、勉強病が興味深かったです。

実体験の話をもとに具体的な事例で説明してもらったのでわかりやすかった。特にキャリア開発の話が興味深かった。但し、聞いただけでは「図解」を活用するのは難しそう。作成するポイントを説明してもらえともっと良かったと思う。

図の持つ本質的な情報量の多さと説明力を新ためて実感した。

図解WEBは素晴らしい。様々なコンテンツや取扱説明はわからないものが多い。図解する際には正しく書く能力がない見た者が様々な異なった理解をします。

Webは発祥が図・グラフを相互にやりとりするためのものですから、正しいWebの使い方だと思います。足元を掘ることは「全体を見る」ことは矛盾しませんか?いかがでしょう。

本も入手しましたので、急いで読んで身につけたいと思います。ホームページアドレスをもらったのでアクセスしましたが、あいさつなしで申し訳ありませんでした。

人生時計は近年40代が能力を最大に出せる最期の磁気化、あとという風潮に対し、もっと晩年までの可能性を言っていて勇気付けられる。

全体を見渡すことの大切さ、また図を使うことで全体を捉えやすくなることが明確になった。すぐに業務に生かせる内容であり、今後は積極的に取り入れようと思う。

仕事が忙しくなるとどれが最優先事項かわからなくなることがあり、そのような時によく時間軸を使って、仕事内容を落とし込み、順位をつけることができるという経験がある。

口頭や文章でのコミュニケーションがうまく上司やパートナーに説明が伝わらないという問題を抱えていたが、解消するいい手段だと感じました。

社内での講演においての事前の宣伝がイマイチではないかと思う。

「文章は直されるが図は直されない」というのに非常に納得しました。また今まで図で示して上司に提出し、訂正されたとしても文章を直されるより上司の意思が感じ取れたこともありました。

35歳で転職し、この1年間自分の望む将来像をずっと考えていましたが、漠然としていてまだ答えが見つかりません。ぜひ図にして考えたいと思います。

ズバリ！ホームページを見た時に、日産社員のアクセスがあったにも関わらず、コメントを入れた人がいない＝コミュニケーション不足！という一言！私は正しいと思います。そして上司と部下が自分の仕事について図解したら全く別の物ができるのではないかというお話。私もそう思います。

若い時から上甲をしてきたが採用されなかったのは上司の納得が得られなかったためと理解しました。

人のマネをするなど講義されていたが、この講義の内容はマネをするのは「矛盾」しているのでは？とムズかしい気持ちになりました。

図を書くことが重要なのではなく「考える」ことが重要であると感じた。「考える」ことのツールとして図は役立つものだとして理解した。

別の会社から出向という形で日産に籍をおいているのですが、今の景気のいい日産と何が違うのかをずっと考えてきましたが、漠然としていてはつきりしなかったのですが、方法を教えて頂いた気がします。

最近報告書、計画書に図解を用いるようにしています。先生の本を読んで学んだというより、新聞などから自然に学んで使うようになったと思います。それだけ先生の図解の影響は世の中に浸透してらるでしょう。私の書いた計画書の図解はなぜか後から出した人が多く真似してました。

いざ自分の仕事を図解したとして本質が書けているか不安である。お客様のことがわかっているのか、社会に役立っているのか？部下をうまく使えているのか？自分のやり方や考え方が正しいのか？ふと不安が多くなった。

自分の意識を変えるきっかけとなる講演だったと思います。技術者は専門に入り込んで、全体を見れなくなる傾向があると思います。図を使って全体を見渡す事が必要だと感じました。

(HPを見て)TOP画面はおもしろいとは思いますが、ゴチャゴチャしていると思います。クリックする場所を探すのは楽しいですが...

自分の仕事も足元をもっと深く掘り下げることで、新たな気づき、発見したい。

「図」という一燈があれば、未知の分野でもやっつけていけるかもしれないと希望が持てたような気がしました。

本当に理解させるには自分で実体験し、本当に困ることから自分で解決を見つけることだと思います。